

○みなとオアシスとは

- ・ 地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度を設立
- ・ 国土交通省港湾局長が住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を登録するもの

○みなとオアシスの担う役割

- ・ 地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休憩
- ・ 地域の観光及び交通に関する情報提供
- ・ その他（災害時の支援、商業機能 など）

○みなとオアシスの構成施設

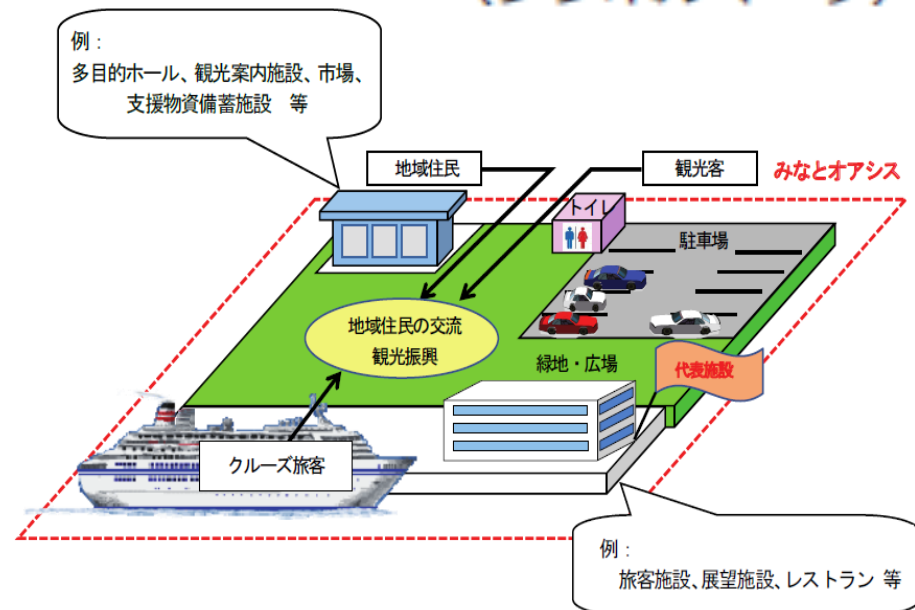
- ・ 旅客ターミナル
- ・ 地元産品の物販飲食店
- ・ 文化交流施設 など

○みなとオアシスの設置者・運営者

- ・ 地方公共団体（港湾管理者含む）
- ・ NPO団体、協議会 など



標章
(シンボルマーク)



※みなとオアシスの構成施設は、各みなとオアシスによって様々であり、必ずしもこれら全ての施設を必要とするわけではありません。



構成施設のイメージ



地域振興イベントの開催状況



地理院地図

国土地理院地図(電子国土Web) (<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

【基本情報】

設置者	静岡県静岡市
運営者	清水江尻港推進委員会
所在港湾	清水港【国際拠点港湾】
港湾管理者	静岡県

【主なイベント】



清水港マグロまつり

【代表施設】



地方卸売市場 清水河岸の市



海洋文化都市推進本部 054-354-2044

清水港江尻地区周辺詳細図



清水港は、冷凍マグロ取扱量日本一を誇っており、遠洋船などの基地としている清水港江尻地区内にある同施設は、魚市場の付帯施設として仲卸し業務の終了後、マグロを主とした水産物の加工販売や、お土産・飲食の提供を行っており、代表施設となる「地方卸売市場清水河岸の市」は年間100万人の利用者がある施設。

また、冷凍マグロのブランド化を目指しており、施設を活用することで、清水港マグロの「認知度を向上」と「情報発信拠点」とし更なる交流人口の更なる増加を目指していく施設。

【施設外観】



清水河岸の市全容

【施設：いちば館内】



物販通路



施設内情報コーナー



主力商品のマグロ

【施設機能：トイレ】



【施設：まぐろ館内】



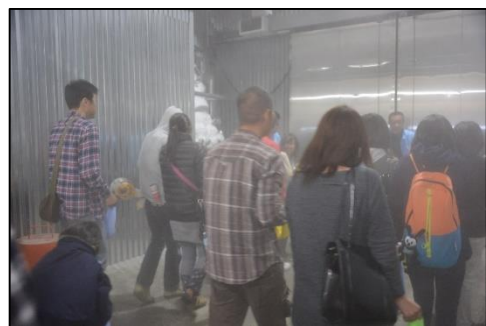
飲食店舗（こちらでも主力商品はマグロ）



清水港は、冷凍マグロ取扱量日本一を誇っており、遠洋船などの基地としている清水港江尻地区。地域の特性を活かし、官民で立ち上げた「清水港マグロまつり」であり、現在では民間主導による「マグロまつり実行委員会」にて開催し、「マグロ普及」「魚食普及」に尽力し、マグロを使った地域活性化に取り組んでいる。



マグロ解体ショー



マイナス60℃体験



マグロ体重あてクイズ



マグロのふるまい



マスコット「まぐまぐ」

中心市街地に近く「まちとみなと」一体となるよう J R清水駅東口に、周辺の賑わい形成を図るため、市によりイベント等開催スペースとして整備され2,700㎡の有効面積を有し、清水港マグロまつりを始め年間を通し多くのイベント等が開催される多目的広場。

【交流機能】



【災害時支援機能】



清水駅東口歩行者デッキ

「まち」と「みなと」をつなぐため、平成29年1月に整備が完了したデッキ。今回申請エリアからの避難経路。

橋長：45.8m（延長61.4m）

橋幅：4.4m（有効幅員3.5m）